

令和4年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	高校生の地域留学の推進のための高校魅力化支援事業			<b>担当部局庁</b>	政策統括官(経済財政分析担当)	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始年度</b>	平成30年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	地方創生推進室	参事官 中野 理美				
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>				<b>関係する計画、通知等</b>	・デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日閣議決定) ・第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)(令和2年12月21日閣議決定)					
<b>主要政策・施策</b>	地方創生			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	「地域で唯一の高校」を存続させることが喫緊の課題である地域が、離島や中山間地域を中心に存在する。将来的な関係人口の創出・拡大の観点からも、高校生という人生の早い段階で他の地域の高校で過ごす地域留学を推進し、全国から高校生が集まるような高校の魅力化を進める。									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	地方公共団体が高等学校等と連携し、魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組のうち、高校魅力化のためのモデルとなる取組を、補助金により支援する。また、地域留学を円滑に進めるための仕組みづくりを行うとともに、各地の高校魅力化の取組を横展開し、更なる取組の促進を図るため、イベント等を実施する。									
<b>実施方法</b>	補助									
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	196	170	158	154	145			
		補正予算	0	0	0	0				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0				
		予備費等	0	0	0	0				
		計	196	170	158	154	145			
	執行額	121	97	114						
	執行率(%)	62%	57%	72%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	62%	57%	72%						
<b>令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	地方創生支援事業費補助金	113	104	重要政策推進枠:22						
	地方創生支援委託費	37	37							
	諸謝金	2	2							
	委員等旅費	1	1							
	職員旅費	1	1							
	庁費	-	0.2							
計	154	145								
<b>活動内容(アクティビティ)</b>	将来的な関係人口の創出・拡大を目指し、高等学校段階における地域留学を推進するため、全国から高校生が集まるような高等学校の魅力化に取り組む地方公共団体を補助金により支援する。									
<b>活動目標及び活動実績(アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	高校生の段階での新たな人の流れを生み、将来的な地域の担い手の育成・確保とともに、関係人口の創出・拡大や移住へつなげる。	高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業採択校数	活動実績	校	-	12	15	16	-	
			当初見込み	校	-	9	12	16	20	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	採択地方公共団体に対する補助金額/高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業採択校数			単位当たりコスト	百万円	-	5	5	7	
				計算式	百万円/校	-	56/12	76/15	113/16	
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標6年度	目標最終年度	
	採択高校が受け入れた地域留學生全員が採択地域に「また来たい」と答える	採択高校が受け入れた地域留學生のうち、採択地域に「また来たい」と答えた生徒の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	100	100	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	採択した高校において、計数したデータを内閣府において集計(冬頃に前年度の実績を調査予定)									

		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	高校生での段階での新たな人の流れを生み、将来的な地域の担い手の育成・確保とともに、関係人口の創出・拡大や移住へつなげる。	地域留学促進イベントの開催回数	活動実績	回	-	5	4	-	-	
			当初見込み	回	-	3	5	5	5	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	地域留学促進イベントに要する経費/地域留学促進イベントの開催回数		単位当たりコスト	百万円	-	7.2	9	7.4		
				計算式	百万円/回	-	36/5	36/4	37/5	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 -年度	
	地域留学に関心を持つ人数の増加	地域留学促進イベントに参加する人数の初年度参加人数(令和2年度130人)に対する割合	成果実績	%	-	-	164	-	-	
			目標値	%	-	-	125	200	-	
			達成度	%	-	-	131	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	委託先の調査により集計									
政策評価、 新経済・ 財政再生計画 との関係	政策	5. 地方創生								
	施策	5. 地方創生に関する施策の推進		政策評価書URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/hyouka/r2hyouka/r2jigo/r2jigo-3.pdf">https://www8.cao.go.jp/hyouka/r2hyouka/r2jigo/r2jigo-3.pdf</a>					
	取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
		該当箇所								
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、社会のニーズを的確に反映したものである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、国費をもって優先的に実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	高校生の段階で地方の魅力を認識する取組を進めることは、将来的なU/Iターンの促進や関係人口の増大など、地方への人材還流や人材定着に寄与するものである。従って、本事業は地方創生の実現に向けて必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	地域留学推進のための情報発信等に係る委託事業者の選定に当たっては、一般競争入札(総合評価方式)により競争性を確保し広く公募を行ったが、1者応募であった。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	公募のうえ、外部委員による公平な審査を経て申請事業を選定しており、自己負担を考慮したうえで、補助金を交付している。					
単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	書面審査において事業経費の使途内容を確認している他、外部委員による審査を行ったうえで採択を決定しており、交付内容の妥当性も含め確認をし、補助金を交付している。						
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	補助金を交付する際には、必要に応じて事業経費の費目・使途の内容を事前に確認することで、資金の流れや合理性を確認している。						
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	補助金を交付する際には、必要に応じて事業経費の費目・使途の内容を事前に確認することで、資金の流れや合理性を把握するとともに、事業目的に即した真に必要な経費の交付に限定している。						

	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	補助金を交付する際には、コスト削減や効率化等の観点から経費の妥当性等について確認をしている他、外部委員による審査を通じて事業の妥当性等を審査している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は目標値を満たしており、今後の地域留学へ参加する高校生の増加や関係人口の増加に資することが期待される。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域留学促進に係る広報イベントはオンラインでの開催となったが、多様な地域の高校生が参加されていた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	補助事業においては、高校魅力化として探究の授業や留学生の受け入れに要する備品は当初の予定通りに活用された。また、委託事業においても、作成した地域留学に係るパンフレット等の広報物は広報イベント等で活用された他、ガイドラインは地域留学生の送り出し校及び受入校間の調整等で活用された。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	事業番号			事業名
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の魅力化に係る補助事業先として令和2年度に採択された学校における留学生の受け入れは令和3年度から始まり、第1期生が留学を終えたところである。</li> <li>・本事業においては、地方公共団体による高等学校の魅力化に関する取組みについて、外部委員によるヒアリング審査等を通じて、計画内容、推進体制、コスト等の観点から妥当性を判断し補助先を決定しており、事業の効果的及び効率的な実施に必要な手続きを踏んでいる。なお、令和3年度は11件(15校)採択したところ。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本事業においても計画の変更を余儀なくされた部分はあったものの、当初想定を上回るオンラインによる広報イベントへの参加者数や、地域留学を円滑に進めるためのガイドラインの作成・公表・活用などを実現した。</li> </ul>		
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の魅力化に係る補助事業においては、補助期間(5年間)以降の自走性を考慮し、補助期間中に申請自治体と道県教委との連携強化体制の構築などに係る取組も並行して行うことで、事業の自走性を高める取組を行っていく。</li> <li>・申請にあたってのポイントをまとめ、事務連絡や事前相談などを通して、より多くの自治体が、本事業に申請されるよう、継続的に働きかけていく。</li> </ul>		

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現  
状  
通  
り

引き続き、事業の進捗状況を的確に把握しながら、事業の有効性、効率性及び成果実績について、より一層の検証に努め、予算の効率的な執行を行うこと。また、執行実績を適切に概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現  
状  
通  
り

引き続き、事業の有効性・効率性・成果実績について適切かつ的確に検証しつつ、予算の効率的執行に努めてまいりたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	内閣府(新30 0003)			
令和元年度	内閣府 - 0033			
令和2年度	内閣府 0032			
令和3年度	2021 府 20 0023			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**内閣府**  
112百万円

地方公共団体が高等学校等と連携し、魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組のうち、高校魅力化のためのモデルとなる取組に対する補助

地域留学を円滑に進めるための仕組みづくり、地域留学を促進するイベントの実施、高校魅力化支援に係る協力者会議の運営等を委託

【補助金等交付】

委託【一般競争契約】  
(総合評価方式)

**A. 都道府県・市町村**  
(11機関)  
76百万円

**B. 民間事業者**  
(1者)  
36百万円

魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組のうち、高校魅力化のためのモデルとなる取組の設計・実施 等

地域留学を円滑に進めるための仕組みづくり、地域留学を促進するイベントの実施、高校魅力化支援に係る協力者会議の運営 等

**事務費**  
2百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**費目・用途**  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.島根県(島根県教育委員会)			B.一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
地方創生支援事業費補助金	高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業	20	地方創生支援委託費	実践的な活動等を通じた高校生の地域留学の推進のための情報発信等業務	36
計		20	計		36

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	島根県(島根県教育委員会)	1000020320005	地方創生支援事業費補助金	20	補助金等交付	-	--	
4	北海道幌加内町	3000020014729	地方創生支援事業費補助金	8	補助金等交付	-	--	
8	宮城県高千穂町	5000020454419	地方創生支援事業費補助金	5	補助金等交付	-	--	
10	鹿児島県さつま町	6000020463922	地方創生支援事業費補助金	1	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム	1280005007169	実践的な活動等を通じた高校生の地域留学の推進のための情報発信等業務	36	一般競争契約 (総合評価)	1	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない。